

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

恵み豊かなパラグアイ川を取り戻すために



魚影が見えてきて、皆さん笑顔。6月12日



レダ基地・パクー稚魚放流

皆で網を持って養殖池に入り、パクーの稚魚を土手に追い込む。6月12日



稚魚をすくい上げ、1杯ずつ計量してトラックの水槽に移す。6月12日



計量すると、稚魚の概数が分かる。6月12日



日本の青年たち。バナーはオリンポで使ったもの。6月12日



飛行場北端の川岸から稚魚を放流。手前は岩澤所長。6月12日



タロイモ苗の植え付け

第2農場の別のタロイモ田に苗を植え付ける。浮草は有用植物。6月15日



第2農場のタロイモ田より取り出した苗。6月15日

持続可能な福地建設をめざして(2)

貧困を克服するために

和田賢一



国際連合が採択した持続可能な開発目標（SDGs）は17の目標を掲げています。その目標を達成するために、169のターゲットと232の指標からなっています。目標は最終的ゴールのスローガン、ターゲットは具体的な目標、スローガンを羅列したものではなく、18ページにのぼる詳細なテキストとなっています。

ゴール1は「貧困をなくそう」というものですが、正式には「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」と記されています。ポイントは「あらゆる場所」「あらゆる形態」にあります。

私たち日本人は「貧困」というと、開発途上国の貧しい生活を強いられている人々の姿をまず連想します。そして、内戦に次ぐ内戦の結果、自国を追われて隣国で不自由な暮らしをする難民を想像したりもします。しかし、SDGsという貧困の意味は、そればかりではなく、先進国であれ、途上国であれ、さまざまな貧困の実態が横たわっていると指摘しているのです。

SDGsでは、最低の生活すらできない「絶対的貧困」と、その国の生活水準や文化水準の中央値の半分を満たさない水準で生活している「相対的貧困」を区分して、それぞれ克服すべき課題を示しています。わが国は絶対的貧困状態にあるとはいえませんが、相対的貧困層を抱えているといえるのです。

それを数値で示すと、わが国の所得の中央値は年間245万円の所得の半分、122万円以下で暮らしている世帯をいい、現在全世帯数の15%が「相対的貧困層」ということになります。（2015年統計による）

最近、母子家庭などを支援する「こども食堂」が

全国に急増していると報じられています。非正規労働者が急増し、さらに新型コロナウイルス感染症の蔓延で、職を失った青年層が生活苦に喘いでいるともニュースに上っています。車上生活者の姿を描いた映画「ノマドランド」も話題になっています。私たちの周辺に、すでに「貧困」が忍び寄っているのです。



パラグアイの首都アスンシオンの高層ビル群。



地方の州都コンセプションの比較的裕福な住宅街。

です。

翻って、南北米福地開発協会が開拓しているレダのあるパラグアイの国情はどのようなものでしょうか。

南米の一部の国では激しい政治闘争が展開されていますが、パラグアイの政治状況は比較的安定しているといえます。経済的には、豊かな資源を持つブラジルなどにはかなわないにしても、国民一人当たりのGDP（2019年）は552ドルを超えました。これは日本の1960年後半の数字と同じで、



先住民の村、エスペランサの標準的な家屋。



建材の定期的な消毒と、蚊帳が不可欠。

日本がようやく自信を取り戻した時期でした。名目GDPは381億ドル（2019年世界銀行統計）で、南米の中でも上位にあります。マクロ経済も健全・安定しているというのが識者たちの意見です。

しかし、そんなパラグアイも都市と地方の経済格差は歴然としています。そればかりではなく、社会的インフラ、文化・教育面の開きはいまでもありません。私たちが開拓しているレダの、周辺の町々をみれば一目瞭然です。

そのようなパラグアイにおいて22年間活動してきた私たちが、これから先、どのような姿勢でパラグアイと向き合い、レダ・プロジェクトに取り組むべきでしょうか。もし、私たちが「ために生きる」という精神で、これまで歩んできたのであれば、さらにパラグアイの人々、パラグアイの国家の「ために生きる」という具体的な指針と行動が必要ではないでしょうか。

むしろ、私たちはそうした気持ちで、開拓してきたことは間違いありません。それが、SDGsのすべてのゴールに貫かれている「誰一人取り残さない」という精神に相通じるものでしょう。（つづく）



今年の青年奉仕隊の活動地。6月22日



ベンチ4脚をマリア・アウシリアドーラ村へ。6月22日



ラパーチョが開花。7月9日



奉仕隊が使うシーツを準備する北中氏。



伊達氏・大元氏とニーム葉粉末。7月4日



インディヘナと日本の青年がドッジボール。7月6日



大好評のちらし寿司。6月20日



選挙で従業員不在の日に調理。6月20日



レダユースオンラインイベントが開催。6月20日

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット（印刷済み）、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



<https://asd-nsa.com/nk/>

入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

レダ・プロジェクト紹介用 パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>